

合格体験記

氏名：U.I.

[合格した自治体(校種・教科)]

大阪府（小学校） ・ 神奈川県（小学校）

Q 採用試験に向けて...

①いつから勉強しましたか

三回生の時に認定試験を受けたので、教職教養は三回生のうちに教職教養をし、十一月頃から一般教養の勉強をしました。

②どのような教材を使っていましたか

教職教養と一般教養の両方、東アカを使っていました。教育法規が東アカは細かかったので教育法規はスーパ一過去ゼミという教材を利用しました。全国過去問も利用しました。

③勉強方法

とにかく教材の黒字のところを覚えるために何回も繰り返し、ルーズリーフに書きました。三月からは全国過去問を解きました。先輩から一年前の全国過去問と二年前の全国過去問をもらい、三年分の過去問を解きました。

④一日何時間勉強しましたか

一日平均4・5時間はしていました。

⑤どこの自治体を受けてどのような対策をしましたか

神奈川県と大阪府の両方、一次試験の結果がでるまでは特に特別な対策はしていません。一次試験の結果後、神奈川県、大阪府の模擬授業の特徴を押さえ、それぞれナビの仲間とともに対策しました。

⑥二次対策はどうしていましたか(実技・専門・模擬授業)

模擬授業は上で述べたので、実技について書きます。神奈川県では私はデッサンとバスケットボールと水泳が合ったのですが、バスケットボールのシュートの練習をEキューブのところで一回練習したくらいです。大阪府は水泳だけなので、近くの市民プールに練習に行きました。

⑦あなたにとって教職ナビとはどのようなものですか

私にとって教職ナビは、自分の課題がなにかを教えてくれる場でした。この教職ナビにかかわり自分のたくさんの課題が見つかりました。そのたくさんの課題を1つずつでも克服することが自分の成長につながると思います。教員になってもその課題を意識して努力し克服しようと考えています。教職ナビに所属していないと自分の課題を見つけることができなかつたと思います。本当に教職ナビに入って良かった。

⑧ゼミ(授業)と教員採用試験との兼ね合いはどうしていましたか

四回生までにほとんど単位をとったので、四回生では少ししか授業はとっていませんでしたが、授業のない時間を勉強にあてていました。

⑨バイトやボランティアはどうしていましたか

ボランティアは四月にやめて、バイトは四月まで週5で夜バイトをし、四月からは週二に減らしつつバイトは続けていました。

⑩挫折そうになったときどうしていましたか

思いっきり息抜きをしていました。人と話すのが好きなので友達とひたすら話をしていました。

⑪大学生活中にやっておいたらいいこと

大学生活では四回生までに必ず学校のボランティアに行くことをお勧めします。そして自分のしたいことにどんどん挑戦し、どんどん失敗することを経験すればよいと思います。

Q これからどのような先生になりたいですか

子ども一人ひとりに、その子にあった活躍の場を与えてやり、笑顔の絶えないクラス作りができ、授業中に一回でもいいのでクラス全員を笑顔にできる先生になりたいです。

Q これから教員採用試験を受ける方へのメッセージ

これから教員採用試験の勉強や面接練習をしていく際に両方ともに共通して大事なことは「自分自身のベストを尽くすこと」です。そして後悔のない一年を過ごしてください。今年は無年やからみんなでどんな困難が来ても飛び越えて行こう。教員採用試験は高い壁やと思います。それを飛び超えるのは、高いジャンプ力が必要です。そのジャンプ力は自分の努力次第で必ず付きます。努力は自分を必ず裏切りません。